

平成 25 年度 長野県図書館協会 定期総会議事録

平成 25 年 6 月 7 日 (金)
13 時 30 分から 15 時 00 分
於 県立長野図書館

開会 池田義久 常務理事

あいさつ 牛山圭吾 会長

(概要)

財政が厳しいといわれる中、長野県の図書館界では明るいニュースが多い。

1 松本市立梓川図書館、上田市立丸子図書館、東御市立図書館、佐久市立望月図書館、中軽井沢図書館など、新しい図書館がオープンしており、今後も建設される予定である。住民のニーズがあるということであり、これからもニーズに合った新しい図書館サービスを提供していく必要がある。

2 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成 24 年 12 月 19 日に告示された。協会としても図書館職員の力量を向上させるために各種の講座を用意している。

3 長野県地域史料をデータベース化し公開する事業が始まる。この事業実施のために、NPO 長野県図書館等協働機構を設立した。今後研修会も計画していく。

4 乳幼児サービスを実施して 10 年を経過した。今年から肉声によることばかけを重視し、わらべ歌、語りを中心とした講座を行う。

5 学習指導要領で探求的学習と、言語活動が重視されていることをうけ、教科書つくりに関わった専門家を講師に迎えての研修を計画している。

6 「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定された。長野県内には 400 をこえる読書団体がある。このネットワーク作りや活動しやすい環境作りが大切である。

一方図書館職員については、専門職員が少ないこと、臨時職員の身分保障の問題がありこの対策にも取り組みたい。

県民の豊かな暮らしの実現のバックアップをしていきたい。

総会成立の確認 池田義久 常務理事

総会は、規約 19 条により総会出席資格者の 10 分の 1 の出席により成立するとされている。本日の出席者数 37 名、委任状 658 で有効数は 695 であり、会員総数が 747 名であるので、総会は成立する。

議長選出

事務局一任の声により、飯島東御市立図書館長を提案し、拍手多数を持って選出された。

議事

第1号議案 平成24年度事業報告

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、閩間小中学校図書館部会長

(内容は別紙参照)

第2号議案 平成24年度歳入歳出決算報告

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、閩間小中学校図書館部会長

(内容は別紙参照)

監査報告：湯原監事

質疑

特段の質疑はなく、拍手多数を持って第1号、第2号議案は承認された。

第3号議案 役員の選出

提案：宮下常務理事・事務局長

理事会において作成した別紙役員案を総会へ提案し、拍手多数にて承認された。

その後役員の互選により、理事長および常務理事を選出した。

第4号議案 平成25年度事業計画

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、閩間小中学校図書館部会長

(内容は別紙参照)

第5号議案 平成25年度歳入歳出予算

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、閩間小中学校図書館部会長

(内容は別紙参照)

質疑

1 原村図書館 宮坂順子

県下の公共図書館同士の情報交換の場が少ないように思うので、対応を考えて欲しい

回答 森泉公共図書館部会長

現在、16支部並びに4ブロック毎に協議や研修会が年数回行われている。しかし、県下全体の交流は図書館長会議が年1回しかなく、しかも会議だけである。ご意見の趣旨に沿う形のを幹事会等で何か考えてみたい。

2 南相木村図書館 氏名秋元良之

図書館大会の分科会で、「小さな規模の図書館サービス」をテーマにすることを考えて欲しい。島根県で行われた全国図書館大会へ参加したところ、「小さな島だからできる図書館活動」をテーマにした講義を聴いた。（講師は専修大学の野口さん）長野県でも同様のテーマを設けることは意義があるのではないか。

回答

牛山会長

長野県の図書館は分館も多い、図書館大会の公共図書館部会の分科会で取り上げることは意義があると思う。

宮下事務局長

25年度の大町大会の企画、運営はすでに固まっているので、26年度以降実施できるように計画していきたい。

以上の審議ののち、拍手多数を持って第4号、第5号議案は承認された。

第6号議案 平成25年度（第64回）長野県図書館大会について

提案：宮下常務理事・事務局長

茅野市で開催することが承認された。

議長退任